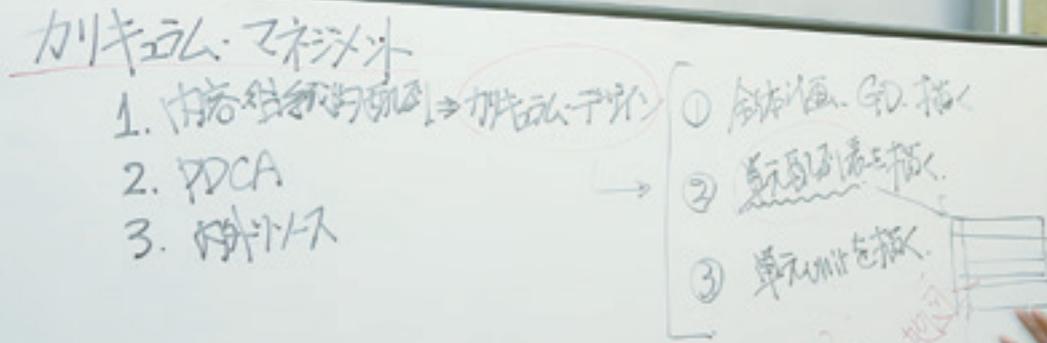


どうする？ どうやる？

# カリキュラム・マネジメント



## 田村学 (たむら まなぶ)

國學院大學人間開発学部初等教育学科教授。新潟大学教育学部卒業後、小学校教諭などを経て、昨年度まで文部科学省初等中等教育局視学官。現在は、生活科・総合的な学習の時間、カリキュラムの研究に取り組んでいる。

「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)と並び、新学習指導要領の重要ポイントとされるカリキュラム・マネジメント。すでに多くの学校でその取り組みが始まっているものの、「いまひとつポイントがつかめない」「この考え方でよいのか?」といった不安や疑問の声も聞かれます。そこで、國學院大學教授で、文部科学省初等中等教育局視学官を務められた田村 学先生にカリキュラム・マネジメントの考え方と実践方法を伺います。

### 「何ができるようになるか」 育成を目指す資質・能力

日常の暮らしの中に人工知能(AI)などが普及する新しい社会では、知識の習得だけでなく、身の回りに生じるさまざまな問題に自ら立ち向かい、その解決に向けて、異なる多様な他者との協働や、状況に応じた最適な解決方法を探り出す力をもった人材が求められています。知識や情報を活用・発揮しながら自分の考えを形成したり、新しいアイデアを創造したりする力をもった人材が求められているのです。未来の社会で活躍できる人材の育成に向けては、「何ができるようになるか」が重要であり、そのためには「何を学ぶか」に加え「どのように学ぶか」を重視することが必要です。新学習指導要領では「何ができるようになるか」という観点から、子供たちの資質・能力を育成するという考え方が大きな柱になっています(下図)。こうした資質・能力を育成するためには、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善(アクティブ・ラーニング)の視点による授業改善とともに「カリキュラム・マネジメントの充実」が重要となります。

### 「カリキュラム・マネジメント」の 3つの側面

「主体的・対話的で深い学び」を単位時間において実現するには、その1時間がどのような単元に位置づいているかという単元構成を抜きにして考えることはできません。その単元の年間における位置づけ、すなわち年間指導計画を知らなければ考えられませんし、1時間の授業や単元構成、年間指導計画が、すべての教科等において、どのように配列され、構成されているかを俯瞰することが求められるでしょう。

さらに、そうしたカリキュラムが、どのような教育目標を受けているかを

## 育成を目指す資質・能力の3つの柱

### ①「何を理解しているか、何ができるか」

(生きて働く「知識・技能」の習得)

### ②「理解していること・できることをどう使うか」

(未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成)

### ③「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」

(学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養)

(中央教育審議会「答申」による)

考えることは当然です。

こうした考えでカリキュラム・マネジメントが目指しているものを細分化すると、3つの側面から捉えることができます。1つ目は「カリキュラム・デザイン」、2つ目が「PDCAサイクル」、3つ目が「内外リソースの活用」です。

どれも「主体的・対話的で深い学び」に結びつくものであり、各学校が未来社会を見据え、どんな人材を育成すべきか考えた際に必要となるものですが、とくに教育内容の組織的配列である「カリキュラム・デザイン」はカリ

## カリキュラム・マネジメントの3つの側面

### ①【カリキュラム・デザイン】

各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと。

### ②【PDCAサイクル】

教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立すること。

### ③【内外リソースの活用】

教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。

(中央教育審議会「答申」を参考)

キュラム・マネジメントの中核を成すと考えています。

その理由は2つあります。1つ目は学級担任のレベルから考えれば、内容をいかに組織的に配列するかというデザインこそが非常に大きく授業につながるということです。2つ目は、内容の組織的配列というカリキュラムのデザインこそがPDCAサイクルや内外リソースの活用と連動していくということです。この2点から、カリキュラムをデザインするところに光を当てることが大事であると思います。

## カリキュラム・デザインの3つの階層

### ・全体計画の作成

教育目標を踏まえ、つなぐ、グランド・デザインを描く。

### ・単元配列表の作成

単元が1年間でどのように実施されるのかを俯瞰し関連づける。

### ・単元計画の作成

学びの文脈を大切に単元を計画する。

## 「カリキュラム・デザイン」を構成する3つの階層

カリキュラム・デザインは3つの階層で構成されています。

1つ目の階層は、学校の教育活動を総括したり、俯瞰したりする「グランド・デザイン」すなわち「全体計画」です。新学習指導要領の総則の第2の1に「各学校の教育目標を明確にするとともに、教育課程の編成についての基本的な方針が家庭や地域とも共有されるよう努めるものとする」とあるように、教育目標はその学校の歴史や地域性、子供たちの特徴が反映され、学校ごとに独自性があるものです。各学校がこれまで大事にしてきたことと、今回の学習指導要領で示してある3つの柱を照らし合わせ「学校が育てたい具体的な子供像」を描き直し、学校全体でどんなプランとして教育課程の編成を行うか、これがグランド・デザインを描くという段階になります。

2つ目の階層は「単元配列表」です。各学年それぞれの教科で年間指導計画を立てていますが、それらをつなぎ合わせて一枚にした、年間の教育活動を俯瞰できるようなものが必要です。これまでは教科ごとに単元指導計画がつけられていたわけですが、一枚の

単元配列表を作成することで、年間すべての教科・教育活動がデザインできます。

3つ目の階層は「単元計画」です。「主体的・対話的で深い学び」を実現しようとすれば、単位時間の授業のみならず、単元がいかにつながりのある連続したプロセスとして具体化されているかが重要になります。一連の問題解決のまとまりである単元を整理し、子供たちを主体とした学びの連続性によって「深い学び」が実現するのです。

この3つの階層の中でも、実際に授業を行う先生には、単元配列表と単元計画が、とくに関係が深いと考えられます。さらに、これまでの教師の取り組みから考えると、より重要なのは単元配列表になります。小学校の教師の

カリキュラムをデザインすることで、たくさんの気づき生まれます。



# 単元配列表を作成するイメージ

**国語科の年間指導計画**  
 国語 単元① 単元② 単元③ 単元④ 単元⑤ 単元⑥ 単元⑦ …… 単元⑩

**社会科の年間指導計画**  
 社会 単元① 単元② 単元③ 単元④ 単元⑤ …… 単元⑩

**理科の年間指導計画**  
 理科 単元① 単元② 単元③ 単元④ …… 単元⑩

↓  
**総合的な学習の時間を  
 中核として配列した場合**

**1年間を見通した単元配列表**  
 各教科等 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

国語	単元①	単元②	単元③	単元④	単元⑤	単元⑥	単元⑦	…	単元⑩
社会	単元①	単元②	単元③	単元④	単元⑤	…	単元⑩		
算数	単元①	単元②	単元③	単元④	単元⑤	…	単元⑩		
理科	単元①	単元②	単元③	単元④	…	単元⑩			
総合的な学習の時間	単元① 1年の期をつなぐ		単元②	単元③	単元④ 次年度につなぐ		単元⑤	…	単元⑩
特別活動	活動①	活動②	活動③	活動④	活動⑤	活動⑥	活動⑦	…	活動⑩
道徳	時間①	時間②	時間③	時間④	時間⑤	…	時間⑩		
音楽	単元①	単元②	単元③	単元④	単元⑤	…	単元⑩		
図画	単元①	単元②	単元③	単元④	単元⑤	…	単元⑩		
体育	単元①	単元②	単元③	単元④	…	単元⑩			
経営	学級/学年 人をつなぐ		家庭/地域/企業		暮らしをつなぐ				

場合、個人で行っていたカリキュラムの作成を同学年、さらに全校という形で広げていくことで、たくさんの方の気づきが生まれます。教科間の関連が大きく俯瞰して見えるようになります。教える側の見通しが立つことになるのです。

この単元配列表を、今回の学習指導要領という「学びの地図」だと捉えるといえると思います。全体をマップのように俯瞰して見ることが出来る「学びの地図」の具体的な表れだと捉えていただく、キーワードが整理されてき

ます。単元配列表の作成は自ずとPDCAサイクルにもなっていますし、さまざまな教育資源をどう生かそうか、という話にもなっています。

単元配列表を描くことに力をかけて、いままで足りなかったところを整備していくと、いろいろなものが連動しながら、期待する方向に向かっていくと考えられるのではないのでしょうか。担任の先生も肩の力が抜け、「これならやれそうかな」ということにならないかかと期待しています。

『カリキュラム・マネジメント入門』東洋館出版社(田村 学編著)より

上越市立春日小学校2年 カリキュラム表 20月30日現在 JVC0 201503update

教科等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
国語	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	280
社会	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	175
算数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	105
理科	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	71
総合的な学習の時間	① 1年の期をつなぐ		②	③	④ 次年度につなぐ		⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	70
特別活動	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	105
道徳	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	35
音楽	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	30
図画	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	35
体育	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	35
経営	学級/学年 人をつなぐ		家庭/地域/企業		暮らしをつなぐ								

▲単元配列表の実際：新潟県上越市では上越市教育委員会を中心に市をあげて単元配列表の作成に取り組み、成果をあげている。



得点集計・個人別診断ソフト

カリキュラム・マネジメントの  
第一歩

# てんまる 2018 で 年間指導計画を作成できます!

単元配列表をラクラク作成

学校ごとのキーワードで単元を色分け

色分けした単元を組み替えてカリキュラム・デザイン

	主体性		情報活用		コミュニケーション		+
	4月		5月		6月		7月
行事	入学式		遠足	運動会	プール開		卒業式
国語	本を楽しもう	みんなの詩	森のくらし	記号のいみを考えよう	インタビューのしかた	ものがたり	文章の書き方
社会	わたしたちが暮らすまち			はたらく人		まちの人についてみよう	
算数	かけ算	たし算とひき算	時刻と時間	表とグラフ		計算	かけ算の筆算
理科	植物		太陽と月		ものの温まり方		水溶液

国語でインタビューのしかたを学んでから、社会で実践してみよう!



※画面・単元名はイメージです

月、教科、キーワード…注目したい項目を選んで多面的にマネジメント!

月に注目

キーワードに注目

教科に注目

てんまる 2018

はぶんげいテストの付属ソフトです